

# 中部支部だより

第37号 (令和7年4月発行)

発行責任者：布施太一郎

編集者：前田邦博



## 支部長挨拶

支部長 布施 太一郎(日野分会長)

支部長を務めさせていただく事になりました。一年が過ぎました。昨年は中部支部の活動に分会長、そして会員の皆様のご協力を得て進める事が出来ました。また、それぞれの分会では特色のある地域活動に積極的に取り組まれている事に感謝申し上げます。今年は9月に国スポ、障スポの祭典が県内各地で繰り広げられます。レイカディア同総会としては、この大会を支える人として、感動の瞬間を共に味わう事が出来ればと思っております。

同総会での活動がレイカディアで共に学んだ方々のご縁がつながる場として、会員相互の親睦をはかりながら、地域に貢献、はたまた母校の発展を願っての活動と、これらの三本柱の活動を継続していく事が、ひいては自身の健康寿命の延伸へと結びつく。こんなプロセスを作る事に同総会活動を活用していただければと思っております。今年も自身の楽しみを謳歌しながら、アクティブシニアとしてそれぞれの地域での活動をして行きましょう。

昨年の研修親睦旅行は、38名の参加で、44期生の新入会員11名の内の6名の参加をいただき、その歓迎会も兼ねての実施です。車内で順番に自己紹介。今回の研修観光は、バス駐車場から余り歩かなくても良いところを選定しました。家康公をはじめ歴代将軍の位牌が安置されている菩提寺の大樹寺を参拝しました。二つの門を見通した先には、岡崎城が見えます。

高速道路工事で昼食が少し遅くなりましたが、美味しい料理とお酒も頂き、カラオケで大盛り上がり。温泉入浴された方もありました。その後海産物のお土産などを買って求め、帰路の車内でもビンゴゲームや童謡クイズで楽しいひと時でした。



## 中部支部親善 GG 大会 9/16 やわらぎの郷公園

1位	2位	3位
酒井直裕	田井中幸子	中野農
能登川分会	能登川分会	日野分会
39	40	41



9月半ばになっても連日の猛暑で、この日も幸い熱中症にならないまでも、とにかく暑さで滅入りそうです。グラウンドゴルフは、高齢者の共通項で、日頃の練習の成果が発揮できた方や久々の方も、それぞれ和気あいあい楽しくプレーできました。今回は、10月から支部同窓会に新規加入の6名も一緒にプレーです。今回は、2ゲームでホールインワンは6個、39打がトップでやや低調でした。上位24名が4支部大会への参加優先となります。

## 4支部親善 GG 大会 10/29 長浜バイオドーム



中部支部からは先の支部大会での選抜選手17名の参加です。ドームのコースはフラットで大変転がります。慣れない内はスコアが芳しくありません。湖北支部は地の利の慣れたコースですが、中部支部の皆さんは苦戦です。上位5位までは湖東と湖北支部で、中部は今一つでした。

指定ホールのホールインワン賞には2名が入り、BB賞は中部支部長でした。入賞者以外でラッキー賞の抽選があり、ワクワクドキドキで数名の方に賞が当たりました。

## 地域活動事例発表会

11/6 発表者:九里重義(永源寺分会)

### ムラサキの産地を目指して～高野を元気に～



第16回地域活動事例発表会では、「ムラサキの産地を目指して」という演題で「おいでえな高野」の活動と、活動をするに際してムラサキの栽培を始めた動機など、現在のムラサキ栽培状況を発表させていただきました。

今後も活動を続けるにあたり、様々な場所で活躍されている発表者の皆さんの活動発表を拝聴して大変励みになりました。

退職後、地元でお互い助け合いながらいつまでも元気で楽しく安心して暮らしていけるコミュニティーを作りたいと2016年に13名の仲間と「おいでえな高野」を立ち上げ活動しています。

栽培開始早々に紬織りで人間国宝の志村ふくみ氏のお孫さんで、「染め師」でもある志村宏氏と出会いました。志村氏から永源寺高野町産のムラサキの品質を高く評価して頂きました。そして、一緒に「ムラサキの産地」を目指して取り組んでいくことにしました。

2024年に志村氏が我が集落の古民家を拠点に「一般社団法人志村の染め」(略して「志村らの染め」)を立ち上げ世界を目指して活動を始めました。

私たち「おいでえな高野」は「志村の染め」と連携してムラサキ栽培を中心にベニ花、藍の品質の向上目指しつつ栽培を根付かせ、「志村の染め」の拠点を共有させていただき、多くの地元の人に参加していただき「おいでえな高野」の活動を継続、広げていきたいと考えています。

## 第46期 学生募集 6～7月 フレンドマートなど



開店間もない時間帯(10時～12時前まで)、店の出入口付近で、60歳以上と思われる来店された方に、レイカディア大学の説明と、入学案内の募集要項を配布しました。新調したビブスを着用して、レイカディア大学同窓会活動もアピールしました。

中部支部関係では、草津キャンパスに8名、彦根キャンパスに15名の合計23名の46期生が入学されました。

## びわ湖一斉清掃 10/24 栗見出在家、栗見新田地先琵琶湖畔



沖ノ島が目に見える出在家漁港に33名が参加のびわ湖清掃活動です。

能登川まちづくり協議会の藤居会長からのご挨拶をいただき、市域にある約2kmの湖辺のゴミ拾いの開始です。大同川を挟んで出在家町側と栗見新田町側の二手に分かれ、可燃、不燃の袋をとングを持って支部のビブスも良く目立ちます。見た目にはあまりなさそうなゴミも、歩いて探すと意外とあるものです。可燃ごみは27.9kg、不燃は8.5kg市の指定袋に入替えて、地域の集積所で処分します。

1週間前に駐車場の草刈のお陰でスムーズに参加者の車が駐車出来ました。

## 伊庭内湖ヨシ刈り 12/14 伊庭内湖



今年で16回目となる伊庭内湖のヨシ刈りに、有志が昨年に引き続き参加しました。刈り取ることで内湖の水中や土中の栄養分を系外に取り除くことになり、少しでも環境保全につながるものとして、企業、各種団体から200名余の参加者です。

太めのヨシを1本1本刈取り、束ねて、最終的に地元の大濱神社のヨシ屋根の吹き替え資材として活用されるそうです

## 支部役員から一言(順不同)

### 松瀬徳之助(副支部長・竜王分会長)

私たち竜王分会は、今年度2名の新入会員を迎え12名となりました。

会員の中には既に様々なボランティア活動に取り組んでいる方も多く、竜王分会独自の活動としての取り組みは出来ていない現状です。会員の中からも懇親・交流を中心とした活動を望む声が上がっていますが、現在は中部支部の事業への参加を主体に活動しています。グラウンドゴルフ大会、びわこ清掃、研修旅行などに新入会員も含め参加してきました。

令和7年は滋賀県において「国スポ、障スポ2025」が開催されます。地元竜王町においてもスポーツクライミングの会場となり競技が行われます。会員の中には昭和56年開催の第36回国民体育大会にボランティア参加を経験した人もおり、今回は特に地元で競技が開催されるということで竜王分会としても大会を盛り上げたい、何かお役に立ちたいとの思いから竜王町へ10名のボランティア登録を行いました。さらに平和堂 H A T O スタジアムで開催される開会式・閉会式の運営ボランティアにも同窓会を通して8名の登録を行なったところです。これを機に分会の活動が活性化され、益々交流が深まることを期待します。

また、新しい活動として町内商業施設において学生募集案内チラシの配布などの勧誘を行い、竜王町からレイカディア大学に多くの方に入學していただき、ひいては同窓会会員仲間の増員に繋がっていきたいと考えています。

### 中野他家子(副支部長・日野分会)

### 光輝高齢者に…

以前の「中部支部だより」を読んでいたところ、26号(平成25年)に私の投稿を見つけました。随分前で、懐かしい!

その中には、「今後はいろんなことを知りたいし、行動、好奇心を持ち続けていく」と書いてありました。また、「後期高齢者」ではなく「光輝高齢者」になるとも。

昨年、無事「後期高齢者」に到達しました。

ところが、夏には体調を崩し、楽しみにしていた日帰り研修や全ての年内行事に参加出来なくなり、大変なご迷惑をおかけしました。今後は、健康に充分注意しながら、皆様と一緒に行動させていただきたいと思っています。

「いろんなことを知りたいし、行動、好奇心を持ち続けいく」を実践継続していきます。

まだ達成できていない「光輝高齢者」となるために。

### 岸 きみ子(理事・会計担当・永源寺分会長)

### この1年を振り返って

永源寺分会は会員5名で、会員全員が地域でのボランティア活動を活発に行っているところです。今年度の支部事業実施日と、各々が活動している団体の事業が重なることがあり少し残念でした。それでも、清掃奉仕、研修旅行には都合をつけて協力頂くことができました。また、地域事例発表会には、中部支部代表として九里さんに、「ムラサキの産地を目指して」と題して発表いただき、多くの感動を与え興味を持っていただけたこと大変うれしく思いました。

私としては、この1年、分会代表をして毎月の定例会、各種事業に参加し、各分会の皆さんの活発な活動に感心しながら楽しく、活動させていただきました。

これからの課題として、これから始まる来期の学生募集で仲間を増やし、今それぞれが活動している地域活動を、レイ大同窓会の活動として協力して行けたらと思っています。

これからも元気に、楽しく、無理をせず、趣味を楽しみ、またこの1年、分会、支部の活動に、皆さんとともに頑張っていこうと思っています。

## 加藤一政(理事・八日市分会長)

## 仲間づくりと社会

昨年9月13日彦根キャンパス園芸学科を卒業しました。

地域グラウンドゴルフ会長や民生委員を勤める間、リカレント入学を待ちました。10年ほど前から、「小学生や幼児」対象に「サツマイモ・ジャガイモ・タマネギの収穫体験」をしています。「より大きなたくさんのお作物で子供を楽しませたい」こんな事が入学のネライでした。下校見守り隊の時に、子供から「おっちゃんサツマイモ掘りはいつ?」「タマネギありがとう」など話す機会があります。レイカディアには「同窓会、えにしの会、サポートの会」仲間づくりや社会貢献の場がいくつもあります。卒業して「趣味団体」や「ボランティアグループ」で活動する人も多くいます。「自治会関連団体」「まちづくり協議会」などに関与する人も多い。複数のグループに所属する事で「数多くの仲間」が出来ます。「いろいろ助けてもらい、助ける機会」が増えてきます。

グループや団体を円形(丸、○)で示すと、○と○が接して、さらに絡み合い、大きな面積になって行きます。これが社会であると思っています。人間一人では生きて行けません。周囲に助けられて今の自分があります。こんな事を思って、楽しみながら暮らしたい。

## 野村毅一 (理事・能登川分会長)

## 「一年を振り返って」

庭の若草の光も美しくさわやかな季節になりました。

昨年の4月より、須藤前能登川分会長の後を受け、分会長を拝命して1年が経ちました。また、中部支部では、布施支部長のもと、地域活動・研修部会を担当させて頂き、日帰りバス研修旅行、びわこ一斉清掃などの活動を企画させていただきました。会員の皆様のご協力のおかげで成功を収めることができました。本当にありがとうございました。能登川分会におきましても皆様のご協力のおかげで、大雨警報が出ているにも関わらず、分会主催グラウンドゴルフ大会を開催させていただいたところ多数のご参加を頂き無事大会を終えることができました。

また、まちづくり協議会が主催でされておられる冬の風物詩である「ライティング・ベル」を盛り上げるために準備、後片付けに多数の会員様にご協力いただき、主催者側から「第21回目を迎え当会員も年を重ね、年々大変になってきている。そのようなときにレイカディア大学同窓会能登川分会様のお助けは本当にありがたい。」とのお言葉を頂きました。参加いただいた会員様には、レイカディア大学のイメージアップに大いに貢献していただきました事に感謝申し上げます。

今後もレイカディア大学同窓会能登川分会の地域活動として積極的に取り上げていきたいと考えています。その他、伊庭内湖ヨシ刈りにも寒い中、分会員様はじめサポートの会からもご参加いただきました。本当にお疲れ様でした。次回は、支部単位で取り組めたらと思っています。

これからも会員相互が集える活動を行なっていきたいと思っておりますので、支部活動、及び分会活動にご協力の程宜しく申し上げます。

## 前田邦博(理事・HP担当 能登川分会)

今年2月の誕生日で、めでたく後期高齢者の仲間入りができました。昨年の7月にはコロナ禍で登れなかった富士山で9回目のご来光を仰ぐことが出来、まだまだ元気でいられそうな気がしています。

今、できることを、できるときに、できるだけとの思いで、様々なお誘いを受けると、出られるときには出来る限り会合などにも参加してきました。今年の新年会も10回以上となりましたが、問題なくクリアです。今のところ、この支部だよりや同窓会ホームページ掲載の作業も、それなりにこなしていると思っています。今後はよろしく願いいたします。



## 44期生11人が新しく仲間入り (順不同) 敬称略

### 安井 達男 園芸学科・八日市分会

私は稲作農家であり、ブドウ、レタスなどをJAや東近江公設市場などに出荷しています。日常は老人介護施設で宿直、送迎補助員などで働いています。ボランティア活動として地域交流の場「ムラカフェ おしゃべりさん」のスタッフの一員としてコーヒーを入れながら交流の場を月2回公民館で開いています。

また「河辺の生き物の森」里山保全活動に参加しています。東近江シニア世代の仲間づくりやレイカディア44期園芸学科彦根で立ち上げた「しし座」の一員として施設訪問に参加しています。

今回中部支部同窓会に入会し、新たな人との出会い、会話を通じていろんな事を聴いたり、話し、これからの人生の生きがいとして励みたいと思っています。



### 高田 静 健康づくり学科・能登川分会

令和6年9月に第44期彦根キャンパス健康づくり学科を卒業しました。

新しく知り合った多くの友とともに、2年間楽しく愉快地健康寿命延伸について、各分野、多くの講師方から講義、実習を受けさせていただき、少しは自分なりに吸収できたのではないかと思います。

同窓会に加入し、中部支部の会員となりました。今後ともよろしくお願いたします。

卒業後、すぐのグランドゴルフ大会、一日親睦旅行に参加させていただき、多く先輩方がそれぞれの場所でいろいろな活動を積極的、自主的にされておられる様子を聞き、大いに刺激と感動を受けています。自分は何もできない、していない、ここまでどうするのか、何かに参加しなければと、いけないとは思っているのですが、ずるずると日ばかり経っています。

卒業して早や半年、2年間共に学んだ仲間との触れ合いを今後も続ける為、グループの当番制で出会い機会を作り、楽しく参加しています。

### 大嶋 正徳 北近江文化学科・能登川分会 レイカディア大学を卒業して

コロナでアルバイトの頻度が少なくなったところの2022年、レイカディア大学が彦根駅前に移転することを知り、レイカディアの北近江文化学科に入学しました。大学では、近江の歴史、地域の文化などを勉強でき、知識向上が図れましたし、何より同じ趣味を持った方と仲間づくりができた事がよかったと感じています。在学中は、城郭探訪クラブに入り滋賀各地の城郭を探訪しましたが徒歩での探訪は仲間づくりに大いに役立ちました。また仲間と探訪会例会イベントの企画と実行の機会もあり貴重な経験ができました。私は野外活動が好きですので、これからもレイカディアで学んだ神社仏閣や城郭跡など低山のトレッキングなど近江探訪を続けたいと思っています。

最近、仲間と琵琶湖一周の徒歩旅行を始めています。今のところ大津から、北小松まで3日間(日帰りで行ったり来たり)かけて歩いたところです。まだまだ時間はかかりますが「千里の道も一歩から」と唱えながらぼちぼちやっついこうと思います。レイカディアでの学びと仲間から受けた刺激が私の活動を支えているように思える昨今です。

井戸 敏幸 園芸学科・八日市分会

### 私の趣味

私の趣味はウォーキング、登山、DIYです。ウォーキングは毎日1万歩、家の近所の4つのコースをその日の気分で選んで歩いています。元会社仲間と津田山、金勝山、堂山、賤ヶ岳、音羽山、中央アルプス駒ヶ岳、蓼科山などを登りました。太郎坊、八幡山、三上山、荒神山などの低い山は一人で日常的に登っています。ウォーキング、登山を始めたきっかけはコロナです。以後約5年間続いています。お陰様で足腰は自信があります。

DIYは30年の経験があり電動工具は一通り揃えています。自宅のベッド、屋根付き駐輪場、屋根付きウッドデッキ、ウッドフェンス、畑の小屋など作成しました。

また布引小学校修理ボランティアもやっています。机・椅子の修理、ドアシャッターの修理、本棚、靴箱、太鼓台、木製スロープ、堆肥場の作成など実施しました。

これからも体が動き続ける限り続けます。

穂積 正美 健康づくり学科・能登川分会

### 卒業して、今思うこと！

レイカディア大学を卒業して半年。今一番思うことは、とても充実した二年間を過ごせたということです。新しい仲間との出会い、性別や年齢、職歴を超えた交流の機会。人との関わりの中で心が豊かになって生活意識も変わりました。

私は、健康づくり学科で健康寿命延伸について学びました。学びの中で自分自身の健康は勿論大切ですが、この経験が、今後、地域貢献に繋げることができるのではと考えるようになりました。授業でホーム入所の方々と一緒に楽しめることを考えるグループディスカッションをしました。

しかしながら、ホーム訪問と被露の場は台風に遮られ、心残りのまま卒業。この授業で作製した絵や簡単な運動を取り入れた歌などを地域のいきいきサロンで活用し、自分も地域の方々も一緒に楽しみて明るく生活ができる地域づくりをしたいと考えています。

野瀬 英行 北近江文化学科・八日市分会

### 出会い、学び続けるということ

レイ大では、なんとなく北近江文化学科を選択しましたが、期せずして様々なことに楽しく接することができました。そこで知り得た内容等を自分なりの記録として残しておきたいと思い、見様見真似で動画を作成し YouTube で公開しました。チャンネル名を最初「近江の隠れた魅力再発見」としましたが、もとより自己満足の産物であるものの自分にとっては再発見であるだけのことと気づき、そうありたいという思いから「出会い、学び続けるチャンネル」と変更しました。

「出会い、学び続ける」とはレイ大が学生全員に示している在り方であり、知らないうちに脳裏に刻み込まれていたこととなります。

新たな人や知らなかったことに出会い、広く学び続けることをこれからの指針として得られたことは貴重で、そのための一つの場として同窓会にも関わっていきたいと思います。



吉田 稔美

園芸学科・能登川分会

### 雑感

レイカディア大学には以前より興味があり、退職後は是非入学したいと考えていました。約4年前に夫の故郷である能登川へ転居し、落ち着いた後、彦根キャンパスの園芸学科に入学しました。

レイカディア大学では、基礎講座も多くあり、最初は戸惑いましたが、以後の生活に役立つことも多く、視野を広げることが出来ました。また、多くの意欲的なクラスメートに出会う機会となり、その友人関係は大きな財産となりました。

卒業して半年。まだ暗中模索の状況ですが、現在は、レイカディア大学で学んだ野菜栽培、剪定、花づくりに加え、学生時代の友人に誘われて入った演劇鑑賞会が新たな楽しみになりつつあります。

また、レイカディア大学同窓会の歓迎会では、生き生きと様々な活動をされている先輩方のお話をお聞きし、触発されました。今後は先輩方のご教示の下、地域活動にも関わっていければと思っています。



尾川 源太郎

園芸学科 B(草津)・竜王分会

### 中部支部の皆さん

若い頃から家庭菜園を近所の方の教えも受け続けて来ましたが、昨今の気象変化等の影響で旧来の栽培ではうまく行かず、一度きちんと新しい園芸を学ぼうと思っていました。コロナの終息を待ち入学。園芸の分野は、花、野菜、果樹、樹木、剪定、庭、等広く、2年では不足と思いつつ、卒業しました。特に野菜栽培の実践が出来、また、学科内の仲間との新しい関係が出来、大収穫でした。

一方、以前より竜王社協と連携しボランティア「菜の花グループ」の活動。在学の方の体験の場の受け皿にもなり、活動の効果が大きい発揮できたと感じています。

中部支部では、草津、彦根(米原)両キャンパスの方々との又新しい関りが出来ることになり、今後ともよろしく願います。

多川 千代子

園芸学科・竜王分会

36年前滋賀に居を構えたものの5年で主人の転勤に伴いこの地を離れ、7年ほど前に戻ってきたのですが、地域のことをほとんど知らない、知人もいない、他人と接することもないという状況だったので、これではいけないと新たな出会いを求めてレイカディア大学に入学することにしました。

レイ大では動機は異なっても「何か」を求めて集まってきた意欲のある仲間達に沢山の刺激をもらい、人は人と接することでしか成長できないと実感、充実した楽しい時を過ごすことができました。

今後もこの折角の縁、出会った仲間とのつながりを大切に、無理のない範囲で楽しみながら自分にできることをやっていこう、地域の活動にも参加していこうと思っています。

川原崎 厚子 園芸学科・能登川分会

### 笑顔は元気の源

レイ大の先輩達が楽しく活動されている姿に刺激を受け、退職後は私も絶対レイ大に入学しようと考えていました

園芸学科に入学し、仲間と共に花の育苗に挑戦しました。現在も花苗を育て、地域の子ども達と施設の花壇に花の植付けをしています。種が発芽し、育って行く様子は子育てにも似ていて、愛情を掛けてやれば立派な花を花壇いっぱい咲かせ、私に元気と笑顔をもたらしてくれます。

もう1つは、レイ大仲間と楽器を習い始めました。60最後の手習いです。ちゃんと演奏できるようになるかは疑問ですが、新たな挑戦は生活に潤いを与えてくれます。これからも、「きょう用がある」楽しく、笑顔あふれる毎日を過ごしていきたいです。

同窓会の皆さまとの出会いを楽しみにしています。

福永 貞子 健康づくり学科・日野分会

### レイ大卒業後は地域のために

退職を機に何かをしなければ！！と思い、以前から興味があったレイカディア大学に入学し、44期彦根キャンパス健康づくり学科を卒業しました。2年間有意義な時間を過ごすことが出来ました。

卒業後は、月1回日野分会主催のレイ大カフェ「なないろ」のお手伝いや、月1回清掃ボランティアに参加しています。

また、日野町社会福祉協議会の「おたっしゃ教室サポーター養成講座」を受講し、8回の講座を修了しました。

これからも、いろいろな広報誌を読んだりして「面白そうだな！ やってみようかな！」と思えるものには、どんどん挑戦していきたいと思っています。

今後は、同期の仲間との交流も楽しみながら、微力ですが地域の為にお役に立てるように頑張りたいと思っています。

分会名	会員数
日野	17
竜王	12
八日市	30
能登川	83
永源寺	5

147

### 中部支部同窓会 会則

#### 第1条(目的)

本会は、会員相互の親睦を図り教養を高め、福祉の向上に資し、地域社会に貢献することを目的とする。  
(以下省略)



## 1. 【令和6年度～令和7年度】 中部支部 役員

(敬称略)

(令和7年4月 1日現在)

支部役職	氏名	分会役員名	本部役職
支部長	布施太一郎	日野分会長	常任理事・総務研修部会
副支部長	松瀬 徳之助	竜王分会長	理事・地域活動部会
副支部長	中野 他家子	日野副分会長	理事・広報情報部会
理事・健康、文化部会長	加藤 一政	八日市分会長	
理事・地域活動、研修部会長	野村 毅一	能登川分会長	
理事・健康、文化部副会長 支部会計	岸 きみ子	永源寺分会長	
理事	前田 邦博	能登川分会役員	支部HP担当
顧問	須藤 豊		
監事	須田 進一		
監事	田邊 初美		

### 【参考】

支部三役 選出グループ分け (過去の慣例・取決めから)

1グループ : 能登川分会

2グループ : 八日市 (五箇荘含む) ・日野・竜王・永源寺分会

## 2. 【44期生 新入会員】

期生	学科	氏名	分会
44	園芸 B (草津c)	尾川 源太郎	竜王
44	園芸	井戸 敏幸	八日市
44	園芸	川原崎 厚子	能登川
44	園芸	安井 達男	蒲生
44	園芸	吉田 稔美	能登川
44	園芸	多川 千代子	竜王
44	北近江文化	大島 正徳	能登川
44	北近江文化	野瀬 英行	八日市
44	健康づくり	高田 静	能登川
44	健康づくり	穂積 正美	能登川
44	健康づくり	福永 貞子	日野

## 3. 【慶祝者 (88歳)】

(令和7年4月1日付)

期	学科	氏名	分会
26期	スポレク	山本 温子	竜王
29期	生活	伊勢 昌代	能登川

## 4. 【令和6年度 物故者】

期	学科	氏名	分会
27	文芸	田口 勉	能登川
23	生活	富江 時子	能登川

### <編集後記>

岡崎、西浦温泉方面への日帰りバス研修旅行では、新入会員歓迎会も兼ねて、参加者の交流と親睦の絶好の機会となりました。今後も、会員皆様の活動の輪を広げるために「支部だより」や同窓会ホームページ (HP) などで、情報の交流・交歓できるよう、写真やコメント提供ご協力をお願いいたします。

支部と分会の活動内容などを掲載した支部HPは、右のQRコードからご覧いただけます。

